

株主通信 vol.43

RYOWA REPORT

空気と水のテクノロジー

第73期

中間期 業績のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑥ テクノ菱和のCSR
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965



はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさまと、感染拡大により生活に影響を受けているみなさまに心からお見舞いを申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力されているみなさまに深く感謝申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第73期（2021年4月1日から2022年3月31日）の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。

環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。

人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

遅い心身の鍛錬

意志疎通の徹底

技術力の研鑽

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境は
いかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に製造業を中心とした景況感が改善している一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいサービス業などでは厳しい収益環境が続き、雇用・所得環境の回復も穏やかなペースにとどまったことから、弱い動きとなりました。

建設業界におきましては、公共投資は、前年よりプラスに転じるものと思われ、設備投資は、先送りしていた投資を再開する動きが見られるなど回復基調が見込まれますが、先行きの不透明感は払拭できず、予断を許さない状況が続きました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は受注高30,774百万円、売上高25,381百万円、営業利益1,104百万円、経常利益1,248百万円、中間純利益821百万円となりました。

当中間期の受注高は、産業設備工事において大型工事を受注したことから、前年同期を上回る結果となりました。また、売上高につきましては、前年度からの繰越工事および当中間期における受注高が増加したことから、前年同期より増加し、利益につきましても、工事粗利益率の改善に伴い、前年同期に比べて増益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	30,774	25,490
売上高	25,381	24,445
営業利益	1,104	396
経常利益	1,248	613
中間純利益	821	400

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。



Q 上半期の取組みについて教えてください。

A 当期は「最先端の技術を活用、DXを推進してもう一步前に進む」とのスローガンを掲げております。デジタル技術の活用が叫ばれる中で、当社グループも時代の流れに遅れることなく、最先端の技術を積極的に取り入れて活用し、DXを推進していかなければなりません。当社グループは、事業の効率化や働き方改革の実行には、DXの推進が欠かせない要素であると認識しており、当中間期におきましては、DX推進担当役員と専門部署を新たに設置し、具体的な計画策定に着手いたしました。

また、CSR活動のさらなる推進を図るため、当社グループにとって重点的に推進すべき課題（マテリアリティ）を策定いたしました。策定した11のマテリアリティをそれぞれESG（環境、社会、ガバナンス）に分類し、SDGsとの紐づけを行うとともに、それぞれのマテリアリティにKPI（重要業績評価指標）を設定し、達成度合いを定期的に評価することとしております。今後も、CSR活動を通じてサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、国内におけるワクチン接種率の上昇とともに、感染状況の改善が見られ、経済活動が本格的に正常化に向かうことが期待されますが、感染再拡大への懸念も拭い切れないことから、景気の回復は緩やかなペースにとどまるものと思われま

す。建設業界におきましては、景気の先行き不透明感が強いものの、企業の研究開発投資や脱炭素社会に向けた環境対応投資などが下支えとなり、設備投資の需要は緩やかに持ち直していくことが見込まれます。

当期の連結業績見通しにつきましては、受注高59,000百万円、売上高58,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,300百万円、当期純利益1,500百万円の見込みとしております。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受注高	59,000	56,187
売上高	58,000	54,871
営業利益	2,100	1,709
経常利益	2,300	2,128
当期純利益	1,500	1,234

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 国内におきましては、企業の設備投資は緩やかながらも持ち直していくことが期待されており、当社グループといたしましては引き続き医薬品・食品・電子デバイス関連をはじめとする産業設備工事を中心に、これらの需要を取り込み、受注確保に努めてまいります。また、感染防止対策や新しいビジネス様式への対応を継続するとともに、CSR活動に注力し、さまざまなステークホルダーのみなさまの期待に応えることで、長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき12円をお支払いすることとし、年間では期末配当金16円を加えた1株につき28円とさせていただく予定にしております。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

株式会社湖池屋 九州阿蘇工場



概要	
完成年月	2021年7月
施工地	熊本県上益城郡益城町
建物用途	食品工場
延床面積	9,113.07㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	空調・衛生・ユーティリティ・消火設備工事

本物件は、本社としては九州初となる生産拠点として建設されたポテトチップスの生産工場であり、西日本を中心に物流の効率化を担う施設となっております。また、地域密着型の工場として来館者向けの見学用ラインやポテトチップス作りを体験できるスペースなどが備えられております。

株式会社ROKI 第1プラント (マスク生産工場)



概要	
完成年月	2021年5月
施工地	静岡県浜松市
建物用途	工場
延床面積	3,757.59㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	空調・衛生・消火・生産付帯設備工事

本物件は、自動車・二輪車用フィルターなどを手掛ける当社が、国内における高性能サージカルマスクの自給率向上に向け、浜松工場敷地近接地に新設したマスク生産工場であります。同社のフィルトレーション技術を活かした高性能フィルターマスクを、基布となる不織布・耳紐の製造からマスクの組み立てまで一貫生産可能な施設となっております。

一般財団法人日本品質保証機構 中部試験センター

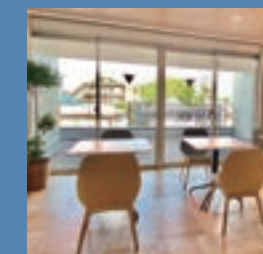


概要	
完成年月	2021年4月
施工地	愛知県北名古屋市
建物用途	校正施設等
延床面積	5,060.00㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、機器や製品に関する認証・試験・検査などを実施する同機構が、新たに開設した試験センターであり、既存の2拠点で行われていた計測器の校正などの業務が本施設へ集約されました。また、施設内には車載機器専用のEMCラボが設置されており、自動車産業における急速な電子化や、自動運転に代表される高度な技術発展に伴う試験・評価ニーズに対応した試験設備が整備されております。

TOPICS 千葉支店社屋建替えについて

当社は、老朽化が進んでいた千葉支店社屋の建替工事をを行い、本年4月より新社屋での業務を開始いたしました。建替え前より床面積を増やし、労働環境の改善を図るとともに、バリアフリーやBCP対策にも配慮した建物となっております。社屋のリニューアルを通じて、今後もさらなる事業の発展を目指してまいります。





テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、クリーンルーム清浄度自動測定システム「Doctor-CR」についてご紹介いたします。

研究開発 クリーンルーム清浄度自動測定システム「Doctor-CR」

当社は、クリーンルーム清浄度を自動で測定・計算し報告書を出力できる「Doctor-CR」を開発いたしました。クリーンルームの維持管理に欠かせない作業となる清浄度の測定や集計を自動化することで、省力化と信頼性向上に貢献できるシステムとなっております。

- ISO測定モード：清浄度クラス5～8に対応 (class100～100,000)
- GMP測定モード：グレードC、グレードDに対応
- バッテリー内蔵：フル充電で約6時間使用可能
- タブレットによる無線操作：離れた場所からの操作が可能

「Doctor-CR」は、可搬性・操作性に優れたシステムとなっておりますが、今期はさらに省力化することを目指し、測定点間を自律走行して測定するロボット化を検討しております。このロボットシステムは、各測定点に設置されたマーカーを認識・測位して自律走行し、目的地点に到着すると測定を開始します。測定が完了すると、さらに次の測定点に移動して測定を繰り返すというものです。今期中の完成を目指し、研究開発を進めてまいります。



Doctor-CR (昨年度開発)



ロボットシステムのイメージ



テクノ菱和のCSR



テクノ菱和のマテリアリティ(重要課題)策定について

当社グループをとりまくさまざまなステークホルダーのみなさまの意見を取り入れた11のマテリアリティを策定いたしました。それぞれESG(環境、社会、ガバナンス)に分類し、SDGsの目標とも紐づけております。策定したマテリアリティへの取り組みや事業活動を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

ESG分野	マテリアリティ(重要課題)	内容	ISO26000 [中核課題]	KPI	関連するSDGs
E	環境負荷低減と汚染防止	CO ₂ 排出削減、省エネ推進	環境	オフィス電力量、社有車燃費、省エネ提案によるCO ₂ 削減量	7 再生可能エネルギー、7.2 再生可能エネルギーの割合を高めること、9 産業と資源効率
		廃棄物の削減とリサイクルの推進	環境	元請現場の廃棄物量の計測	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産
		大気保全、化学物質規制対策	環境	環境法令順守	13 気候変動に具体的な対策を
	技術開発力の強化	技術開発力の強化	環境	省エネ関連技術の社外発表件数	13 気候変動に具体的な対策を
S	ダイバーシティの推進	ダイバーシティの推進	人権	技術系従業員に占める女性比率	3 働きがい、経済成長、5 性別平等
	人材の確保・育成	人材育成、技術継承	労働慣行	管理職層に占める女性比率	8 働きがい、経済成長、9 産業と資源効率
		人材の確保	労働慣行	一人当たりの資格取得数	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産
	働き方改革の推進	労働生産性の改善、DXの推進	労働慣行	一人当たりの時間外労働時間	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産
		長時間労働の是正、ワーク・ライフ・バランスの推進	労働慣行	一人当たりの平均年次有給休暇取得	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産
	労働安全衛生の推進	安全衛生の推進	労働慣行	強度率、度数率(当社基準 労災事故発生率)	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産
施工品質の向上	施工品質の向上	消費者課題	補償工事の削減	11 持続可能な消費と生産、12 持続可能な消費と生産	
G	コーポレートガバナンスの強化	企業統治の推進	組織統治	社外取締役の比率	4 働きがい、経済成長、9 産業と資源効率
		ESG情報開示の促進	組織統治	CSR報告書の発行	12 持続可能な消費と生産、16 平和と公正
		公益通報者保護制度の整備・運用	組織統治	-	12 持続可能な消費と生産、16 平和と公正
	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスの徹底	組織統治	投資家との個別エンゲージメント	12 持続可能な消費と生産、16 平和と公正
	情報セキュリティの強化	情報セキュリティの強化	組織統治	コンプライアンス研修受講率	12 持続可能な消費と生産、16 平和と公正
責任あるサプライチェーン・マネジメントの推進	責任あるサプライチェーン・マネジメントの推進	公正な事業慣行	セキュリティ講習受講率	12 持続可能な消費と生産、16 平和と公正	
				テクノ菱和調達方針の制定	

CSR 当社グループのCSR活動やESGへの取り組みは、ホームページで詳しくご紹介しています。 <https://www.techno-ryowa.co.jp/csr/>

受注高	売上高	経常利益	中間純利益
30,774百万円 ＜前年同期比 20.7%増＞	25,381百万円 ＜前年同期比 3.8%増＞	1,248百万円 ＜前年同期比 103.4%増＞	821百万円 ＜前年同期比 105.2%増＞

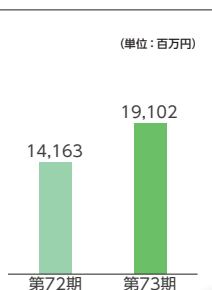
受注高構成比

(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

62.0% 19,102百万円

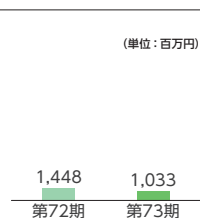
当中間期は、産業機械分野において大型工事を受注できたことから、前年同期を上回る受注高となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.4% 1,033百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

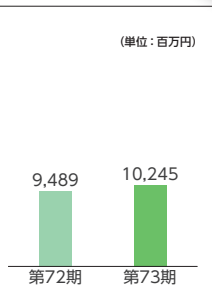
1.3% 393百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

33.3% 10,245百万円

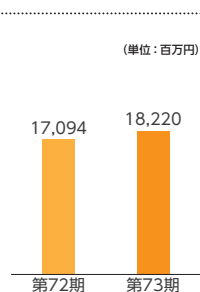
当中間期は、医療関連施設を中心に受注が堅調に推移し、前年同期を上回る受注を確保できました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し、受注の確保に努めてまいります。



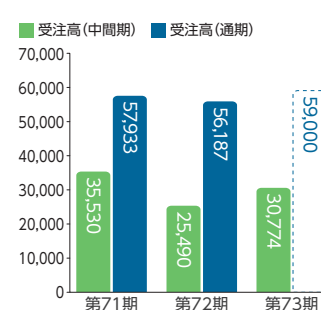
設備改善工事

59.2% 18,220百万円

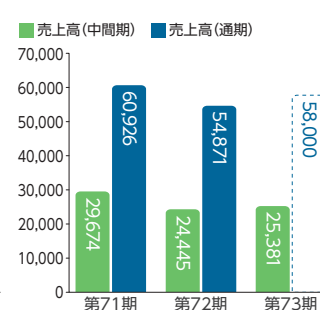
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



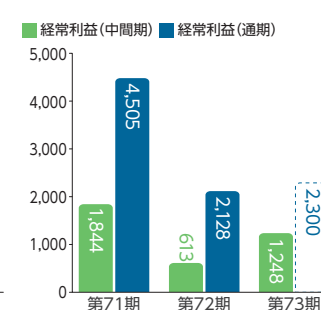
受注高の推移



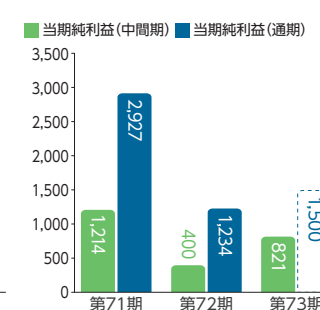
売上高の推移



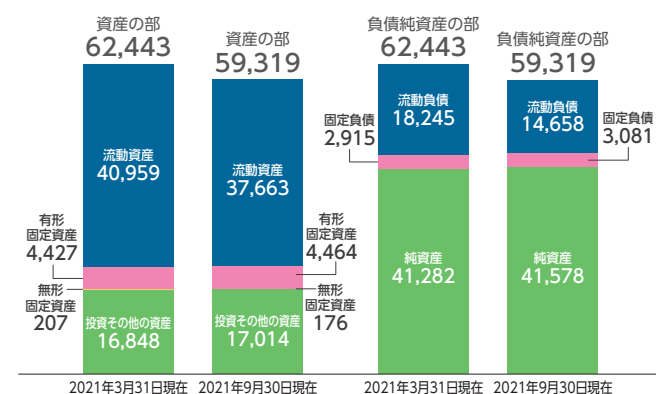
経常利益の推移



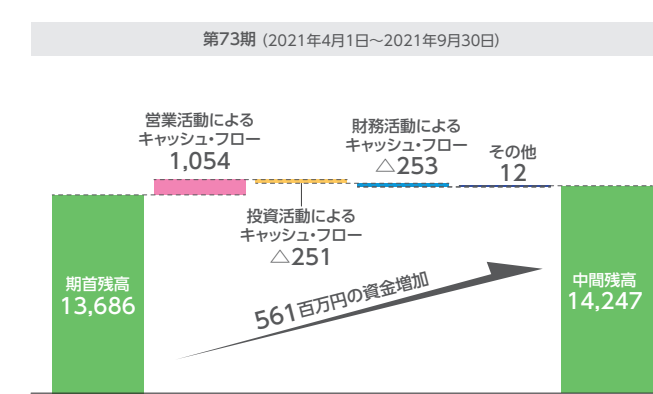
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

資産の部	負債の部	純資産の部	キャッシュ・フロー
流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の減少21億円、電子記録債権の減少14億円、固定資産における投資その他の資産の増加1億円を主な変動要因として、前期末と比較して31億円減少し、593億円となりました。	流動負債における支払手形・工事未払金等の減少17億円、電子記録債務の減少10億円、固定負債における繰延税金負債の増加1億円を主な変動要因として、前期末と比較して34億円減少し、177億円となりました。	利益剰余金の増加4億円を主な変動要因として、前期末と比較して2億円増加し、415億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して4.0ポイント上昇し、70.1%となりました。	売上債権の減少による資金増加36億円、仕入債務の減少による資金減少28億円、長期借入れによる資金増加1億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して5億円増加し、142億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 1949年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 753名 (連結879名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
千葉支店(千葉県千葉市)	大阪支店(大阪府大阪市)
茨城支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員 (2021年9月30日現在)

取締役

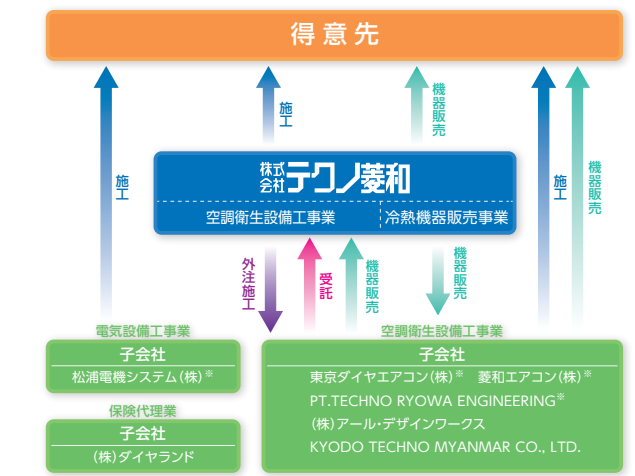
代表取締役	黒田英彦
取締役	星野宏一
取締役	加藤雅也
取締役	大石勉
取締役(社外)	武田公温
取締役常勤監査等委員	雑賀純二
取締役監査等委員(社外)	小坂井千春
取締役監査等委員(社外)	飯高弘史郎

執行役員

社長執行役員	黒田英彦
専務執行役員	星野宏一
常務執行役員	加藤雅也
上席執行役員	黒田長憲
上席執行役員	窪和敏
上席執行役員	福士富三
上席執行役員	大石勉
上席執行役員	袴田一博
執行役員	鈴木俊夫
執行役員	齋藤吉信
執行役員	伊豆丸暢
執行役員	堀下浩
執行役員	武石義人
執行役員	武田和夫
執行役員	水野則康

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* 所在地 東京都新宿区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社アール・デザインワークス 所在地 大阪府大阪市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社* 所在地 愛知県名古屋市中 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社ダイヤモンド 所在地 東京都港区 主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社* 所在地 大阪府守口市 主要な事業の内容 電気設備工事業	KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD. 所在地 ミャンマー連邦共和国 主要な事業の内容 建設資材製造販売業
PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING* 所在地 インドネシア共和国 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行済株式の総数 22,888,604株

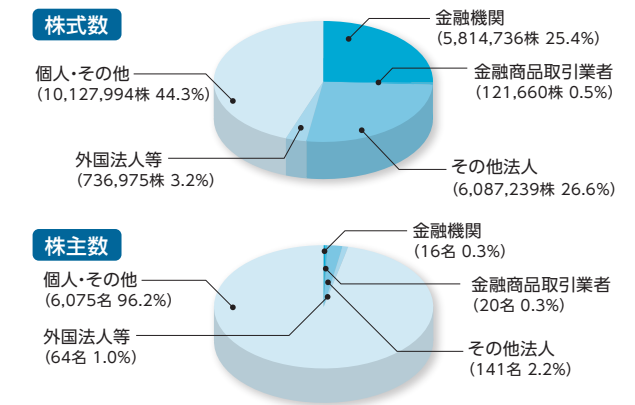
株主数 6,316名

大株主 (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,333	10.7
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.5
株式会社三菱UFJ銀行	1,071	4.9
株式会社みずほ銀行	1,071	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.1
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.3
テクノ菱和従業員持株会	722	3.3
近重 次郎	672	3.0

* 当社は、自己株式1,116,888株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (2021年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告掲載URL <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。
【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

